

2007

第40回 明善大同窓会のすべて



第40回



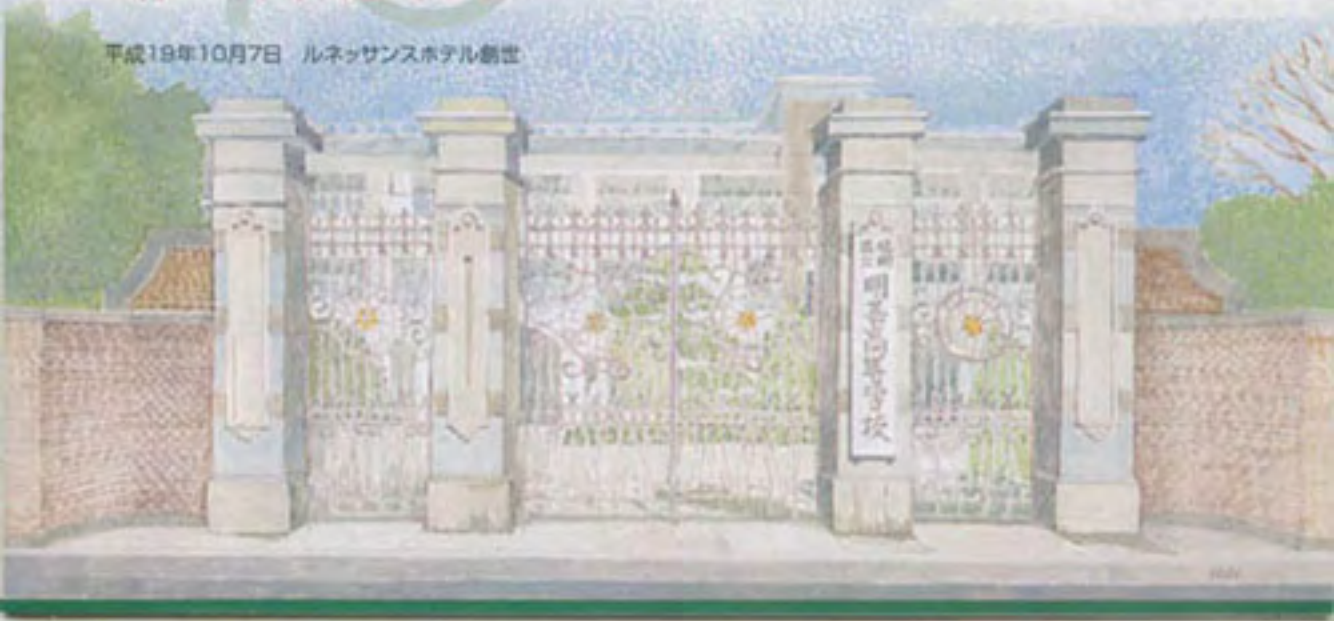
明善大同窓会

Alumni Association

絆—今、時代を越えて

平成19年10月7日 ルネッサンスホテル創世

47会のパワー!
160人の笑顔!!



第40回明善大同窓会への物心両面からのご支援、ご協力誠にありがとうございました。
お陰をもちまして大成功裏に幕を閉じる事が出来ました。これより明善同志47会メンバーの足跡を記し、
皆様の記憶に残る第40回明善大同窓会の記念誌とさせていただきます。 実行委員長 森野 祐文

第40回 明善大同窓会へのステップ

1969年 4月7日 明善高等学校入学(創立90周年)
1972年 3月7日 明善高等学校卒業
1985年 1月3日 明善同志47会発足(第1回同窓会)
1990年 1月3日 第2回明善同志47会
1995年 1月3日 第3回明善同志47会
2000年 1月3日 第4回明善同志47会
2005年 1月3日 第5回明善同志47会
2006年10月14日(土) 第39回明善大同窓会参加後2次会にて実行委員会発足承認

2006年11月2日(木) 会報「どうしようん?」第1号 発行

2006年12月9日(土) 第1回実行委員会

2006年12月26日(木) 第2回実行委員会

場所 バイブ 18:00~

第3回実行委員会

場所 バイブ 19:00~

臨時(第6回)明善同志47会

場所 創世 15:00~

第3回実行委員会予定

場所 バイブ 19:00~

2007年 3月中旬 会報「どうしようん?」第2号 発行

2007年 2月17日(土) 45年卒との引継式

場所 久留米市役所 15:00~

2007年 3月20日(火) 第4回実行委員会

場所 バイブ 19:00~

2007年 4月10日(火) 総務委員会 場所 バイブ 19:00~

2007年 4月14日(土) 第5回拡大実行委員会



場所 森野倶楽部ハウス 13:00~

キッズコピー、音響協力金、予算を決定

2007年 5月14日(月) 第6回実行委員会

場所 バイブ 19:00~

2007年 5月19日(土) 明善同窓会理事会

明善高校小会議室 14:00~

2007年 5月20日(日) キッズコピー、チケット承認

3年10組11組合同クラス会

梅の家 12:30~

2007年 5月26日(土) 財務委員会

久留米市役所会議室 14:00~

2007年 6月1日(金) 18:00~じゃんく5

2007年 6月3日(日) 明善同窓会福岡支部総会

12:30~道頓堀ホテル

2007年 6月10日(日) 明善同窓会近畿支部総会

11:30~名古屋国際ホテル

2007年 6月11日(月) 明善同窓会東海支部総会

総務委員会 場所 バイブ 19:00~

2007年 6月12日(火) 第7回実行委員会

場所 バイブ 19:00~

2007年 6月16日(土) 第8回拡大実行委員会



2007年 6月23日(土)

2007年 7月初旬

2007年 7月14日(土)

2007年 7月15日(日)

2007年 8月1日(水)

2007年 8月4日(土)

2007年 8月7日(火)

2007年 8月11日(土)

2007年 8月23日(木)

2007年 8月24日(金)

2007年 8月26日(日)

2007年 8月31日(金)

2007年 9月4日(火)

2007年 9月8日(土)

2007年 9月9日(日)

2007年 9月10日(月)

2007年 9月12日(水)

2007年 9月18日(火)

2007年 9月23日(日)

2007年 9月27日(木)

2007年10月1日(月)

2007年10月2日(火)

2007年10月6日(土)

2007年10月7日(日)

2007年11月9日(金)

2007年11月17日(土)

2007年12月20日(木)

場所 森野倶楽部ハウス 13:30~

明善同窓会代議員総会

場所 明善高等学校 13:30~

チケット配布

会報「どうしようん?」第3号 発行

12:30~東海大学校友会総

明善同窓会関東支部総会

財務委員会

場所 日吉丸 18:00~

第9回実行委員会

場所 バイブ 19:00~

第10回拡大実行委員会

場所 森野倶楽部ハウス 13:30~

総務委員会

場所 バイブ 19:00~

臨時(第7回)明善同志47会総決起大会

場所 創世 18:30~

記念品、企画決定

第11回実行委員会

場所 バイブ 19:00~

2007年 8月26日(日) 総務委員会 場所 バイブ

2007年 8月31日(金) 企画委員会 場所 早田邸 14:00~

2007年 9月4日(火) 総務委員会 場所 バイブ 19:00~

2007年 9月8日(土) 第12回拡大実行委員会

場所 森野倶楽部ハウス 16:30~

広報・企画委員会

場所 早田邸 14:00~

2007年 9月10日(月) 会報「どうしようん?」第4号(号外)発行

2007年 9月12日(水) 総務委員会

場所 創世(予定) 18:30~

2007年 9月18日(火) 第13回実行委員会

場所 バイブ 19:00~

明善同窓会会報発行手配)



10:00~(59名参加)

終了後15:00~第14回拡大実行委員会

企画委員会

場所 明善高校大会議室 18:30~

2007年10月1日(月) 総務委員会 場所 バイブ 19:00~

2007年10月2日(火) 第15回拡大実行委員会

場所 森野倶楽部ハウス 18:30~

第40回明善大会会リハーサル

場所 創世18:30~

第40回明善大同窓会 10時集合

会報「どうしようん?」第5号(最終号)発行

最終拡大実行委員会

第40回明善大同窓会記念誌発行

明善同志47会 第40回 明善大同窓会 組織図

会長 田中四十三

実行委員長 糸野 裕文

事務局長 大坪 純一

総務委員会
出田 剛朗

中島 洋子 国武 秀隆 宮原 貞次

【西鉄】 船橋 茂紀 古賀 伸一 江越加州生 古賀 明紀 池田 敏彦 倉富 純男
浜田 裕二 大石 康雄 田中 英彦 荒巻 智文 星子 光記 後藤 敏夫
【JR】 浅川 藤昭 稲葉 順 松本 祐哲 上地 通幸 平井 健一 佐田 一兵
【会場】 西田 玲子 中山 孝子 中西美智子 村上 博子 成道 銀子 津留崎真穂子
【第1】 豊田 薫 古賀 信幸 塚本 秀樹 豊増 史郎 星先 光 板本 和江
中野由美子 萩尾 洋子 二又 龍志 黒川カズ子
【第2】 足立 良夫 河野 明 中村 久千
【第3】 伊藤 和彦 立山 茂延 大石 純夫 井辺 正文 中村 裕之
【70歳】 諸藤志美子 臼石麻祐美 大村 孝廣 西川 潤 中村 恵子 森山 倫子
西尾 豊子 吉田 典子 丹部佐保子 藤田 寛子 藤田真智子 近藤 信江
古川 和志 江口 厚子 山下三枝子 山田 和子 二宗 優子 渡辺 慶子
江崎富美子 森 智香子 安田千夜子 田中 博子 中尾 晶子 大坪 妙子
北島佳代子 神崎 和子 井上 正明 古賀 康子 内田規容子

企画委員会
森 誠

【司会】 原 淳二 小林美智子

吉永美佐子 早田美恵子 坂田真知子 三小田真智子 山口 淳 後野 清貴

【応援団】 平野 吉嗣 三原幸三郎 丹治 義明 緒方 肇 後藤 勇二 浜地 良和

稲葉 順 畠田 裕二 国武 秀隆 田中 宗陽 荒巻 智文

広報委員会
坂田 一男

田中 宗陽 中山 寛 船崎真貴子 山下 里美 山下 博子 野村由美子

星先 薫 境 政人 柳田 悦子 飯倉 倫子

【記録】 木下 雅之 後藤 秀行 成富 健二 原 常夫

財務委員会
山本 隆幸

坂田 文子 野口加代子 大久保潤伸 古賀 美美 中垣 美子 露毛 純子
大内登志子 中村 哲郎 大石 明子 内藤 啓子 原田 芳子 岡部 久代
松崎美佐保 小川久美子 末益 芳明 高島真里子 立部 恵子 赤池 孝子
志茂 文子 平野 昌子 安田富佐子 末次 豊彦 菅原 景子 山本文白子
林 美都子 浜地 京子 山本 輝子 平島久美子 吉川ますみ 石野 清美
栢石 悦子 渡辺 明美 平塚美智子 石井 京子

近畿支部長 足立 良夫

東海支部長 飯倉 倫子

関東支部長 豊島栄三郎

【医療班】 船所 裕司 黒島 恵美 小柳真穂子 辻 博治 高柳 清美

【来賓接待】 小川 洋子 田島 静雄

【ヘルプ・デスク】 豊島栄三郎 江頭 基高

惜しくも当日欠席された運営協力金拠出者リスト

望井 真穂子 前井 高一 原 栄二 北村 邦彦 牛島 登次子 松石 博香 中林 政田 馬場 由貴子 大川 雅生
植本 晋 水町 洋子 船橋 和子 小野 大作 高橋 一正 鬼頭 篤子 都 二子 永田 栄子 大田 紀美子
都築 ひとみ 足 裕子 奥田 真穂子 小野 裕子 大石 豊雄 山口 哲哉 野口 弘志 熊手 雅彦 堀内 山美子
上原 裕子 高下 誠由 市川 真由美 徳崎 真介 高田 千明 渡辺 康徳 野口 志げみ 後 雄二 清水 志美子
鈴木 真穂子 横山 紀子 深溝 隆 生井 靖彦 古賀 美代子 奥田 一彦 後藤 美佐子 田中 四十三 行徳 高子
佐藤 和子 加茂 和子 森山 一 若井 三千代 戸川 透 大石 純夫 堀 紀美子 田中 久子 今泉 裕子
安河内 桂枝 酒匂 敬子 藤 浩一 井上 良一 溝田 圭子 宮本 光範 平田 しげ洋 下瀬 雄策 岸田 希香子
高田 和子 野村 裕 竹内 浩子 朝野 美津子 市川 典子 渡辺 進 緒方 正広 鶴 高 西村 敏彦
中野 和之 広重 幸四郎 工藤 定明 尾藤 祥子 柳野 真紀子 梶野 武石 野口 洋子 原口 弘寿 藤田 恵子
中村 健雄 若橋 昭廣 原 秀子 片岡 律子 川口 治比古 池尻 弘子 原口 弘寿 藤田 恵子
藤島 邦子 河野 千洋子 朝野 茂子 長崎 美穂 野原 由美子 野原 由美子 大坪 純一 井手 栄子 橋爪 康行

決起大会・支部総会



当番期の日印検封 (2007.8.11)



真剣に聞き入るメンバー達 (2007.8.11)



遠方船のあいさつ (2007.8.11)



当日欠席を詫げる四十三同志47代会長
(2007.8.11)



アメリカから北海道から (2007.8.11)



10.11総集合 (2007.5.20)



総務委員会と試食会 (2007.9.12)



福岡支部総会 (2007.6.11)



福岡支部総会后、いざ2次会へ。じゃんくう前にて (2007.6.11)



近畿支部総会 (2007.6.3)



東海支部総会 (2007.6.10)



関東支部総会 (2007.7.14)

前日の打ち合わせ・リハーサル (2007.10.6)



プログラム・記念品などの当日資料の詰め込み作業



作業の説明



口と手は別々に動きます



三二織の製作



企画ファッションショーと司会の打ち合わせ



応援団の打ち合わせ



名札製作



財務-受付けの打ち合わせ



事務局よりお願い

最終打ち合わせ・送迎



当日、午前中の打ち合わせ／各担当の確認

JR久留米駅送迎



西鉄久留米駅送迎



会場全景



送迎バスにて到着

2007.10.7 さあ、本番だ～!!



財務・受付準備完了



事務委員・フロアの案内



東海支部長を事務局がお出迎え



終身会費受付



受付開始



開場を待つお客様達



混雑する受付



会場案内も笑顔で

第一部 式典

第一部 大同窓会行事

(午後2時00分より)

会場 明善中学校 音楽室(山本 義典)

1. 物故者への黙祷
2. 開会の辞 明善中学校 校長 藤野 計介
3. 会長挨拶 明善中学校 校長 真木 大樹
4. 祝 辞 明善中学校 校長 大瀧 信英
5. 顧問紹介 顧問 明善中学校 副校長 宮 浩也
顧問 明善中学校 校長 志賀 一広
顧問 明善中学校 校長 大久保 晃
6. 創立記念日講演紹介 クリスチャン・クルーグ氏
7. 祝電披露 校長 藤野計介 山本 義典



ルネッサンスホテル新館と中庭



ムジカソナーレ・アンサンブル ウェルカム演奏



真木会長あいさつ



大瀧校長あいさつ

西日本新聞記事より抜粋(平成19年10月3日 朝刊)

独兵捕虜の息子さんが講演

第1次世界大戦(1914~18年)時に久留米市の久留米俘虜収容所にいたドイツ兵捕虜が帰国直前、久留米高等女学校(現在の明善高)で演奏会を開いたことにならみ、当時の捕虜の息子が当時の交流ぶりを語る講演会が明善高創立記念日講演として3日、久留米市民会館大ホールで開催される。明善同窓会が「当時の交流を今の若者らに伝え、新たな交流のきっかけになれば」と企画した。

収容所は1915年から約6年間、現在の久留米大医療センター(同市国分町)の敷地にあった。

一中館(詳しくは同志47会HP・久留米高女と第九交響曲・山口 淳 をご覧下さい)~

今回、講演に訪れるのは、オーケストラでバイオリンを奏でたエルスト・クルーグさん(79年に87歳で死去)の息子、クリスチャン・クルーグさん(66)。

同窓会理事大坪純一さんが約4年前、収容所やこの交流に関する新聞記事を読んだのをきっかけに、父親の捕虜生活時の日記や写真などを市に寄贈していたクルーグさんの講演を企画した。打診したところ、5月に快諾を得て、渡航費も自費で揃うとの申し出があり、実現した。

大坪さんは「多くの人にこの歴史を知ってもらいたいという同窓生らの気持ちの一つになり、実現できた。感謝の気持ちでいっぱい。」と喜んでいる。

クリスチャン・クルーグ氏を招いて



クリスチャン・クルーグ氏と通訳役の小林さん



高女の先輩達より花束贈呈



顧問紹介

第二部 懇親会

さあ～、47会の出番です。

司会の名コンビ
原淳二君と小林美智子さん

心地よい疲労感が達成感を倍増

原 淳二

本当に終わっちゃったんですね。7日の大同窓会に出席していた母から、お疲れさんの電話をもらって実感がわいてきました。母親曰く、「あんたが、カミカミ王子にならんごつぱっかり祈とったよ」しゆいにも大器晩成と言いつけている母親らしい言葉でした。それにしても皆さん、本番に強いですね。通知表なら5ではなく6をあげたいくらいです。素晴らしい。でも、これもみんな管理人さんや桑野実行委員長達の頑張りに誘発されてのものですよ。絆について書き込みしたとき、誰も反応してくれなかったけど、みなさんは実践という形で表現したんですね。私自身、小林さんという素晴らしいパートナーを得て、無事(?)使命を果たせたことは一生の思い出となりました。同志47会のみなさん、ありがとうございました。また、時代を越えて違いましょね。(2007.10.9掲載より)

第二部 懇親会

(午後0時より)

司会 原 淳二 (MC) 小林美智子 (MC)

1. 乾杯 司会 原 淳二 祝詞 松本 雅彦
2. 会食開始
3. 校歌・応援歌大合唱
4. 第41回大同窓会 当番幹事委職状授与式
司会 西宮 浩吉 高木 大志
5. 万歳三唱 編曲 山崎 敏夫 指揮 原 淳二
6. 閉会の辞 司会 原 淳二 祝詞 美子



会場風景

お疲れさまでした。大成功でしたよね?! 小林美智子

本当にしろうとの私が百戦錬磨?の原くんやみーんなのバックアップでなんとか通り過ぎました。通訳の方は、会場の様子をまったくわからないまま、ステージが上がって、しばらくはよかったんだけど、会場いっぱいのゲストに気づいた途端、顔の中が真っ白になって急にクルーグさんの言葉が顔の上を通り過ぎてしまいました。大坪君、メイキング作るなら、あのへんは是非、すっ飛ばしてください!!!

ファッションショーは思った以上の出来だったと思います。一生懸命やってもゲストの歓顔に埋もれてしまうかも知れないと思っていたのですが、最初の太郎さんのパフォーマンスでゲストの注目をつかみましたね。最後まで注目してもらったと思います。モデルの皆さんの体当たりの素晴らしい演技力の賜物だと思います。

会場の外で最初から最後まで立ち働いた皆さんも本当にご苦労様でした。異常に蒸し暑かったので、汗をかいて(私は冷や汗でしたが)大変だったと思います。



大坪事務局長と企画委員会の製作「大同窓会のあゆみ」DVD放映

企画 ファッションショー



メタボな方にも



ケガをした時は三角巾に



真知子巻き



いろいろな結び方が



ちょっと、ひっかけてー



神田川風ー風呂上がりー



かわいいターバン風



腰に巻いて決まっています



チョイ悪オヤジと



ちょっとスマートに



強盗か?いやガーデニング日焼け防止



さまざまなコーディネート



全員集合

校歌・応援歌大合唱・伝達式



進路の方で明善高校歌



中学明善校々歌(旧制校歌)



明善高校定時制 進退歌



久留米高等女学校校歌



会場も大きな声で

大迫力の応援団



入場



平野団長はじめ勢揃いの応援団

当番幹事 委嘱状伝達式



桑野実行委員長
お礼のあいさつ



当番期48会へ たすきの引継ぎ



万歳三唱



「応援団の素顔」

平野吉嗣

現役の運動会の応援団から数えること〜38年後に、よもや大先輩方々を前にして応援歌の総取りをするなんぞ夢にも思わなかった。大坪事務局長から、年明けに着録音を見えなぞと耳打ちされる。ネットで白旗の歌の歌詞を見つけ、紙に書いて覚える毎日がスタートしたのは、既に春先のことだった。しかし、新しい歌が全くわからない。振り付けもままならない。ましてや、他の応援団メンバーも具体的に名前が挙がってこない。

朝に、夕に「巻頭語」を口ずさむ。完璧に中々覚えられず自分の脳みそが退化していることを痛切に感じ苦悩の日が続く。夏の暑さでエアコンの効いた部屋で生まれ

初めてフルシーズンを家で過ごすことになった今年。一日30回は口ずさむうちに、暗記はほぼ合格点状態になった。

次は新しい歌をどうするか? ああでもない〜こうでもない! と結局悩んだ末に、誰にも相談することもなく覚悟を決めたのは、わずか当日3日前のことだった。

そんな中、前日のリハーサルに応援団のメンバーリストが配布されるが顔を出してくれたのはその半分だった。明日本番というのどうするかいな? 状態だった。それでも、会場を下見し、関係者が用意してくれた4色の白旗代わりの旗、丹治君が用意してくれた明善大同窓会の旗を会場に持ち込み段取りの青写真を話し合った。

それで方向性が決まり当日を迎えたのだった。人数をカウントすると希望人数まで集まらない。横の連絡で急遽応援団手伝ってくれ! と頼んでやっと体制が整ったところで、緊急打ち合わせ! 朝の内にメイン会場にてリハーサル。自分の声が通るか?! しかし、過去の大同窓会での催事イベントでご年配のご婦人方にはマイクを使わずと併せてかえって不詳だとかの事前情報を耳にしていた。マイクから意識的に離れ、地声で巻頭語を一発実戦してみた。血が切ればかりの持てるだけの声量で一回だけの予行練習。振り付けも仲間と10分足らずで決めた。あとは、もうどうにでもなれ〜状態で寝を待った。

16時を回った。愈々スタンバイ状態。応援団の顔や表情は38年前の学生時代に戻っていた。眼光鋭く、正に近寄りたいたい舞台裏だった。ああ〜、これが38年振りに味わう青春なんだな〜と思ったのは自分だけではなかっただろう!

いざ、本番だ。一生に一度の大同窓会での応援歌のリード役。これを一期一会というのであろう。原淳二君が名司会で応援団を紹介してくれ、次々と壇上に駆け上がる。このとき、真に自分を越えてた。500人の同輩の代表であり、誇りと勇気と勇気だけで壇上の中心に立っていた。同輩のみんなに会場に入ってくれ! と呼び掛けたのは、実は自分は47会の一代表に過ぎず、その47会みんなの気持ちを一つにして500人分の声と振り付けで支えてくれた他の応援団と共に歴史の1ページを創ったかったのだ。

この緊張感は二度と味わうことができない貴重な体験だった。歴史は続く。47会も節目を飾ることができた。みんなの力で! ありがとう!

お見送り



笑顔で見送り



来年も、お会いできますように



タオルマフラーをしてお送りの方も〜



楽しんでいただけましたか?



お気をつけて!



原武先生もうれしそう

みなさんのコメント (掲示板より抜粋含む)



開業組

早起きしたので朝から

山下Hiroko

全員集合の写真見ました。みんな笑っていますね。楽しい写真です。遅ればせながら大同窓会お疲れ様でした。

数年前まで私には関係ないものだと思っていました。それがなぜか一昨年、昨年と出席。以外と楽しいものだと知りました。でも、今年はその何倍も楽しかったです。例えるなら、高校の運動会の応援合戦に似ているかな? リーダーがいて、団結してがんばる音がいて、終わった後にヤッターという充実感があって。そんな感じでした。

出席するのは今年までかなと思ってましたが、来年は違う楽しみ方でできそうだし、行ってみようかな? ちょっと余裕で、あたたかい目で後輩の幹事ぶりを見られそうです。

同朋の眼

真

大同窓会も盛況のうちに終わり、参加したみんなの熱気が余韻となりはじめて、ようやく秋の気配を感じるようになりました。大同窓会の日、僕が印象に残ったのは、同朋の眼です。美女の大先輩をステージに誘導しましたが、皆さん嬉々とされ、上品なコーラスでしたし、初めて聴く演奏も哀感があって、歌が作られた時代の気風を感じました。平野君の迫力ある巻頭演を見ていると、ちょっと古いけど丹波節の若き日を思い出しました。47会内輪の打ち上げで披露された坂ちゃんの眼と舞は素晴らしいものでした。あんな眼をした坂ちゃんは初めて見ました。宙に浮いているような不思議な足取りや、憑依しているかのような眼は、昔見たことのある中西和久の一人芝居を彷彿とさせました。芝居の宙での撮影写真、こんなに笑顔が溢った写真というのも珍しいですね。感無量の大坪君のようすも忘れられません。お集まりした同朋やそうでない同朋の中にも、それぞれの思いを浮かべた視線が注がれていたように思います。

お礼と1の3

高瀬(けい)愛子

初めて書き込みます。博子さんから早く書き込みよう言われてたんだけど勇気がなくて…1の3の話題の時、今しか無いと思いつつ数日経ってしまいい時代遅れの感がありますがよろしく。

まず、大坪君を始め各委員会の皆さん、本当にお疲れ様でした。当日までの、そして後の部の出し物までも準備して下さってご苦労は大変な物だったと思います。

大学卒業以来ずっと久留米に住んでのに何も手伝わずごめんなさい。4人の子育てが卒業間近と想ったら親の介護で…でも皆さんの中で頑張ってくれたんだよね。

口石さんをはじめ遠方から来て責任者を務めてくれた人も多かったよね。当



開演組

日のみ参加の自分が恥ずかしい。心からお礼とお詫びします。西鉄の近くの二次会も楽しかった。高校で話したことが無い平野君に声を掛けてもらって嬉しかったよ。そこで赤池さんと馬島さん達と写った写真を早速彼女達から送って貰って思い出に渡ってます。大坪君や森野君にはもっとお手をねざらうべきでした。ごめんね。

そうそう、1の3の写真の事で。何日も実家を探したのに見つからなくて、小林さんに感謝です。これもまた私は博子さんの顔(右端)に写ってました。今驚くしくて貰ってるので嬉しい。彼女は絶世の美女だった(今も)ね。馬島君はすぐ判ったよ。本当に可愛かったね。

平成13年に病気で亡くなった由紀さんも写ってて感無量です。大同窓会の翌日に赤池さんと一緒に、由紀さんの懐か納骨堂にお参りしました。彼女も同窓会に来てたらな、と思いました。高校卒業後もずっと親しくしていたので残念でなりません。

ここまで1時間半…携帯メールのようには行きませんね。子供のパソコンでローマ字変換だし…ではまたいつか書き込み日まで、慶子でした。



各委員長・振って万歳

大同窓会ありがとう、タローからの初めてのカキコミ

境 タロー

明善同志47会の皆さん、大同窓会が終わってちょっと手遅れですけど、はじめて書き込みをさせていただきます。というのも、昨日、馬島君から「もらったメールの文章を掲示板にカキコミませんか?お願います。みんな喜びます」とのアドバイスももらったからです。大したものではありませんが、10月10日に坂ちゃんからもらった「HP掲載される」への私からの返信メールをカキコミさせていただきます。

「坂ちゃん、大同窓会実行委員各位、同窓会参加者の皆さん、明善同志47会の皆さん、本当にご苦労さまでした。私は、東京にいてただ傍観していただけでしたが、同窓会に出席させていただき、大成功に終わったことを目の当たりにして、皆さんのご苦労と団結力を再認識しました。これも、我々明善同志47会は異常なほど仲が良いと言われる所以ですね。また、この不肖の私にも、出席をさせていただき有難うございました。とても良い思い出になるでしょう。仕事が一段落し、メールをチェックしていたら、坂ちゃんからの40年卒HPの案内メールが届いていました。早速開いてみると、再び先日の楽しいひとときに思い戻ることができ、今日のつらい(?)1日も、最後は楽しい思い出で終わることができました。皆さん、有難うございました。これからも、「克己、尽力、奉天」、この実行は本当に難しいですが、明善同志47会のメンバーとして楽しくやっていきましょう。境タローでした。」

馬島君からのアドバイスを受け、これまで殆ど見たことがなかった明善同志47会のHPからみんなで作った集合写真を見て、その迫力に感激しました。なんと約53・54(事実だけど失礼)の同志47会のメンバー全員の写真の笑顔!みんなすっきり高校時代の明るい笑顔そのものですね。もうひとつ、2次会で江頭基義君が明善同志47会を代表して挨拶してくれたことが嬉しかった~!江頭君、福岡に戻ってしまったけれど、豊島君や藤原さんと一緒に、いつも僕ら同志47会を明るく引っ張ってくれて有難う。これからもよろしくね。止めどないことを書き込みしましたが、明善同志47会HPへの境タローのデビュー戦でした。読んでいただいた仲間へ感謝すると共に、今後ともよろしくね。



リラックスした会議室

卒業後35年という記念すべき年を迎えて思うこと

平井健一

大同窓会も盛況のうちに終了し、すでに10月も終わろうとしています。猛暑だった夏場も、過ぎてみれば、懐かしさを感じる今日の頃です。そんな季節の変わり目を感じさせる時期での大同窓会でした。長い経歴に励んでこられた実行委員の皆様には、とても感謝しています。ありがとうございます。

さて、今年を、我々にとって、明善高校時代をいろいろと思い、懐かしみ、そして考えさせられた年ではないでしょうか。そこで、私なりに三つの項目でまとめてみました。

(1) 昭和47年を思い出す

我々同志47会のメンバーが揃って明善高校を卒業した年、世間ではどんなことがあったのかな、とふと思いつき、ネットで調べてみました。西暦1972年です。

- ・1月 横井庄一元軍書グムからの降参
- ・2月 札幌オリンピック
- ・2月 達合赤軍浅間山荘事件
- ・5月 大阪 千日前デパート火災
- ・6月 田中角栄「日本列島改造論」
- ・7月 男性の平均寿命が70歳を越す
- ・8月 ミュンヘンオリンピック
- ・9月 日中国交回復 ノンダのランランとカンカン
- ・11月 交通安全スローガン「せまい日本 そんなに急いでどこへ行く」

あっ、そうか、そんなことがあったんだ。浅間山荘は連日テレビ中継があり、食い入るように見ていた記憶があります。わたし的には、大学受験が上手くいかず、一浪を覚悟した時期でもあります。オリンピックは、冬と夏が同じ年に開催していたんですね。また、地味ですが、今年が日中国交回復35周年の年なんです。我々と同じ35年です。当時は、中国に対する意識はまだ低かったでしょうね。このときに、ノンダが初めて来ました。みなさんは、どれくらい覚えていらっしゃるでしょうか。

(2) 35年の時をこえて

明善高校という同じ釜の飯を食った仲間が、35年前に、それぞれの思いを胸に巣立っていき、色んな経験を積み、それなりの年輪を重ねました。そして35年という時を越えて、再び「第40回明善大同窓会」に集結したわけです。そのパワーたるや、想像を超えるものを感じます。そして、その成果は、あの笑いに満ちた集合写真に集約されています。

この日のために、時間と努力を惜しまずに準備されてきた、実行委員の皆様にご敬重すると同時に、当日集結してくれた同志は、それぞれに自分を磨いてあげたい、と満足しているはずです。1+1=3以上という表現もできると思います。2007年10月7日は、そんな記念すべき日として、われわれの記憶にインプットされました。

(3) 新しいステージへ

明善同志47会にとりまして、今回の「第40回明善大同窓会」は、ひとつのマイルストーン（道標）という位置付けです。即ち区切りです。これからの活動を、どのように維持、そして発展させていくべきか、みんなでお考えのことを、今回学んだような気がします。

今は、インターネットを活用する時代です。いつでも、どこでも、だれでもネット上でコミュニケーションを図れる時代です。我々には、専用のホームページという便利なツールが与えられています。そこに

アクセスすることで、同窓会活動に関する案内を始めとして、同志からの情報提供や告白が糸口となり、忘れかけていた自分の過去、思い出を呼び覚ますことができます。楽しかったこと、はずかしいことなどいろいろあると思いますが、これからは同志47会の共有財産として、できるだけ活用していきましょう。高校時代は、全く知らなかった、話したこともなかった同志が気軽に話せる（書き込める）場にもなっています。ここを拠点として、新たな展開（活動）が生れそうな予感があります。来年は、55歳になります。がんばりましょう。ね、みなさん。

第40回明善大同窓会、「絆」を実感！

中嶋洋子（旺性・高浜）

記念すべき第40回明善大同窓会、47同志会の結束力と会の成功に感謝し、無事やり終えたことで安堵しています。

私は、出田総務委員長の補佐として田中武君とともに副総務委員長を担当しました。喫茶バイで総務委員会を重ね、道のりは長かったけど、本番は、順調かつとても盛り上がり、時間の流れを早く感じました。総務委員会は、記念品・会場関係（座席・料理・案内）・送迎・各係の人員配置・挨拶・調整等の役割でしたが、多くの人に助けってもらい、特に事務局長の大坪君のサポート（リードかな）は大きく、「大同窓会を成功させよう」という意気込みが、この会を動かしていた気がします。

総務委員会・総実行委員会で、記念品の選定は重要な課題でした。出田委員長のこれに勝る執念は、これまでの参加者の評価を知ってか、色も校章のサイズもこだわりの内容でした。それに際して、アトラクションにタオルマフラーの使い方のファッションショーを企画してくれたのが効果抜群。皆さん使ってね。参加者の皆様には、美味しい料理とDVD放映・迫力ある応援歌など、もてなしの心が伝わり、笑いと感動を与え、ご満足頂きました。また、当番席の自印となる「たすき」は両肩からかけるという掛け方・各札の位置も検討を重ね、アイロンがけも総務の村上・西田・津留崎さんらの大きなお力があったのでした。ところが当日は、秋らしくない暑さが残り、女性は想定が暑いからと急遽、右肩から左斜め下への掛けという美しい形に決定。今まで数々話し合ったことが当日の状況に合わせて即変更。これも47会の臨機応変の素晴らしい決断力の結果です。私はというと、委員長のサポートと激励そして気配り、各係の業務マニュアル作成・医療班の準備、ファッションショーへの応援、二次会の南京玉焼の太鼓の音の練習と遊び込みはさすがのものです。でも十分楽しませてもらいました。

今回の大同窓会での当番席の仕事は、この年代に対する責任感と実行力への信頼だったかと思えます。そして、この役割が与えてくれた新たな出会い・交流は、「今後の人生への糧（りやう）だ」と思えます。同窓会として先輩・後輩との年代を越えた出会いで、交流の輪が広がり、絆を実感することができました。たくさんの温かい愛情とパワーを頂くことができました。ありがとうございました。



〔広報委員長の独り言〕

みんなの仕事は終わったばっけん、僕の仕事はまだまだ続く……。

坂田一男



会長・副会長・幹事



幹事



幹事・役員



フロア担当



応援団